

# 事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 交流文化部

所属名 文化課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
㊦景観まちづくり推進事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	平成28年度	令和9年度	29,043	—			29,043	拡充
ふくいの文化芸術創造発信事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	86,341	—	2,049	340	83,952	継続
ふくい県民総合文化祭開催事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	平成18年度	令和10年度	8,850	—			8,850	継続
ふくい文化の担い手育成プロジェクト	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	平成23年度	令和10年度	9,449	—			9,449	継続
みんながアートでつながるプロジェクト	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	15,929	—			15,929	縮減
㊦熊川宿若狭芸術祭開催推進事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和5年度	令和9年度	15,411	—	7,533		7,878	拡充
「福井県文化振興プラン」推進事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和7年度	令和11年度	591	—			591	継続
まちかど幸福ピアノ設置事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和2年度	令和8年度	204	—			204	縮減
㊦市町による文化の担い手育成応援事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和8年度	令和10年度	4,047	—	2,023		2,024	—
一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	平成11年度	令和10年度	11,000	—			11,000	継続
㊦一乗谷朝倉氏遺跡博物館魅力発信強化事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和7年度	令和10年度	12,887	—			12,887	拡充
中世都市遺跡研究の拠点化推進事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和7年度	令和12年度	31,510	—			31,510	継続
越美北線魅力向上事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	2,497	—			2,497	縮減
一乗谷朝倉氏遺跡フィールドミュージアムデザイン事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和5年度	令和8年度	34,270	—			34,270	継続
ふくいのミュージアム連携事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和4年度	令和8年度	3,778	—			3,778	継続
博物館・美術館の専門職員による地域連携事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和6年度	令和16年度	7,221	—	2,617		4,604	継続
一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	昭和42年度	令和8年度	145,040	—	66,769	38,000	40,271	継続
歴史博物館企画展開催・準備事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	昭和59年度	令和8年度	17,683	—		6,090	11,593	継続
若狭歴史博物館企画展開催・準備事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	昭和57年度	令和8年度	13,647	—		1,692	11,955	継続
一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催・準備事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	昭和61年度	令和8年度	14,063	—		4,500	9,563	継続
県立美術館企画展開催・準備事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	昭和52年度	令和8年度	83,786	—		44,786	39,000	継続
福井の方言利用促進事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和5年度	令和7年度		—				廃止
地域の伝統行事活動支援事業	12 文化芸術・スポーツ力の強化	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				廃止

## 事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和 8年度

部局名 交流文化部

所属名 文化課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
「越前鳥の子紙」魅力発信事業	12 文化芸術・スポーツカの強化	政策的経費	令和7年度	令和7年度	/	—	/	/	/	完了
みんなのまちなかステージ設置支援事業	12 文化芸術・スポーツカの強化	政策的経費	令和3年度	令和7年度	/	—	/	/	/	廃止
音楽を活用したまちづくり推進事業	12 文化芸術・スポーツカの強化	政策的経費	令和3年度	令和7年度	/	—	/	/	/	整理統合
サブカルを活用した地域活性化事業	12 文化芸術・スポーツカの強化	政策的経費	令和5年度	令和7年度	/	—	/	/	/	廃止
全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業	12 文化芸術・スポーツカの強化	政策的経費	令和7年度	令和7年度	/	—	/	/	/	完了
					547,247		80,991	95,408	370,848	

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	平成28年度
㊦ 景観まちづくり推進事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	福井ならではの歴史・文化的景観のさらなる維持・向上を図るため、市町が実施する景観まちづくり等や重要文化的景観の魅力発信を支援する。				
事業内容	(1) 伝統的民家群保存活用推進地区内での景観づくりに対する補助 (2) 歴史的建造物の改修に対する補助 (3) 市町の景観まちづくりに対する補助 (4) 重要文化的景観の保存・活用に対する補助				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	29,043	—			29,043
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	補助金活用事業数	15	19	令和7年度
	活動指標	重点地区設定市町数	10	8	令和9年度・累計
事業評価	<活動指標の目標設定期間について> 景観まちづくりは、計画に基づいた長期的な取り組みが必要なものであるため、単年度での活動指標を設定せず、令和5年度から令和9年度の5か年で設定。				
区分	拡充	<事業実績（予定）> 次のとおり、市町等の景観まちづくりへの支援を行うことで、景観の維持・向上につなげることができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的民家改修等を6件支援</li> <li>・ 建築物等修景等の市町の景観まちづくりを9件支援</li> <li>・ 重要文化的景観に関する整備計画策定や普及啓発事業等を支援</li> </ul>			

	交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる (創造力)			経費区分	政策的経費	
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化			事業開始年度	令和7年度	
ふくいの文化芸術創造発信事業			事業終了年度	令和9年度	
事業目的	福井県文化振興プラン (令和6年4月策定) に基づき、本県の文化芸術活動を持続的・発展的なものとするため、令和7年4月に (公財) 福井県文化振興事業団に設置した「ふくい文化創造センター」において、県民が担い手となるアートプロジェクトの支援、新たな文化創造や人材育成などを行い、本県の文化芸術を持続的に発展させる。				
事業内容	(1) アーツカウンシル機能の構築 (2) 文化で織りなす共生社会実現プロジェクト (3) 企業の文化活動促進プロジェクト (4) アートプロジェクトによる文化芸術創造事業 (5) 子ども文化芸術体験1万人プロジェクト (6) 文化芸術に溢れ賑やかな福井づくりプロジェクト				
予算・決算額 (単位: 千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	86,341	—	2,049	340	83,952
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	アートプロジェクト助成事業の実践者数	2,000		令和7年度
	活動指標	アートプロジェクト助成事業への参加者数 文化芸術活動に参加した子供の数	30,000		令和7年度
事業評価	<成果指標・活動指標> 令和7年度の実績は令和8年3月末に確定予定。 <事業実績 (抜粋)> ・地域おこし協力隊を新たに1名委嘱 ・県内アーティストによる福祉施設訪問回数: 11回 ・ビジネスパーソンのための文化芸術セミナー開催: 3回 ・アートプロジェクト助成金交付: 44団体 ・アートキャリア講座の開催: 5回 ・企業や団体へ越のルビーアーティストを派遣: 4件				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	平成18年度
ふくい県民総合文化祭開催事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	県民一人ひとりの積極的な参加により、多様な文化の発表、活動、交流、鑑賞を行う、「参加型」のフェスティバルを県内各地で開催し、多くの県民に身近にふくいの芸術文化に親しむ機会を提供する。さらにふくいの文化を全国に発信し、交流を促進するため、国民文化祭への参加を支援する。				
事業内容	(1)「ふくい県民総合文化祭」の開催 ①「ふくい文化フェスティバル（仮称）」の開催 ②「福井県総合美術展」「福井県音楽コンクール」の開催を支援 ③「選抜芸能祭」「選抜美術展」の開催を支援 (2)国民文化祭への参加支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	8,850	—			8,850
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	参加人数（観客数含む）	26,000	15,434	令和7年度
	活動指標	助成・共催団体数	23	12	令和7年度
事業評価	令和6年度から事業の内容を見直し、県域文化団体が一堂に会する総合文化祭を開催。令和7年10月に開催したハーモニー文化フェスでは1日の開催で1,000人を超える方が参加した。 <成果指標> ハーモニー文化フェスの開催時期に他の文化イベントやコンサートなどが多く開催され、参加者が分散したことにより参加者が伸びなかった。 <活動指標> ・団体の高齢化や会員数の減少により文化イベントの開催が困難となったり隔年開催が増加したため、共催する団体が伸びなかった。 <事業実績> ・分野横断型の総合文化祭「ハーモニー文化フェス」観覧者数：2,601人 ・長崎で開催された国民文化祭への参加支援：1団体				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	平成23年度
ふくい文化の担い手育成プロジェクト				事業終了年度	令和10年度
事業目的	子どもたちに様々な文化芸術に触れる機会を提供することで豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、福井の文化芸術の担い手を育成する。				
事業内容	(1)公演事業 ①ふるさと子どもコンサート (2)文化施設活用事業 ①キッズミュージアム ②学校鑑賞会 ③ふれあいミュージアム (3)芸術家派遣事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,449	—			9,449
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	芸術・文化を体験する子どもの数	5,000	8,502(R7.1末時点)	令和7年度
	活動指標	事業実施回数	80	186(R7.1末時点)	令和7年度
事業評価	<成果指標・活動指標> 令和7年度の実績は令和8年3月末に確定予定。 <事業実績> ・ふるさと子どもコンサートの開催：6市町で開催 ・キッズミュージアム：7回実施（R8.1末時点） ・学校鑑賞会：91校で開催 ・ふれあいミュージアム：21校で開催（R8.1末時点） ・芸術家派遣事業：33校で実施				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和5年度
みんながアートでつながるプロジェクト				事業終了年度	令和10年度
事業目的	障がいの有無、世代等に関わらず様々な人たちが創り出したアート作品を一堂に展示する展覧会を開催することで、多様性の意義と価値への理解を促進するとともに、才能ある美術作家を発掘し、育成につなげる。併せて、多様な人々が創造活動に参加できる機会を増やすため、指導やプロデュースができる人材の育成を行う。				
事業内容	(1)障がい者を含め、多様な人たちが創り出した作品を展示する展覧会の開催 (2)多様な人たちがアートに親しめる環境づくり ①指導者研修会 ②若者向けイベント制作研修会 (3)福井のアートを県内外へ発信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	15,929	—			15,929
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	展覧会の来場者数	2,000	2,063(R7.2末時点)	令和7年度
	活動指標	展覧会の開催回数	2	2	令和7年度
事業評価	<成果指標> 令和7年度の実績は令和8年3月末に確定予定。 <事業実績> 多様な担い手の作品を一堂に展示する展覧会の開催 本展：県立美術館【来場者数】2,061名 選抜展：県立若狭図書学習センター				
区分	縮減				

	交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
1 2	文化芸術・スポーツ力の強化		事業開始年度	令和5年度	
	㊦ 熊川宿若狭芸術祭開催推進事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	国内外から優れたアーティスト等を招聘し、地域住民に優れた文化芸術を身近に接する機会を提供するとともに、滞在するアーティストが地域の歴史・文化をもとにした創造的な表現活動（公開制作など）を通じて広く発信することで、若狭熊川宿を「アーティストが集うクリエイティブなまち」、「世界の文化交流拠点地域」としてアピールし、若狭町や嶺南地域への興味・関心を高め、交流人口の拡大を図る。				
事業内容	<p>国内外のアーティストが歴史的、文化的な地域資源あふれる地域に滞在し、創作活動や地域住民との交流、魅力発信を展開。</p> <p>○連携機関 ヴィラ九条山、関西日仏学館、国内の美術系大学、東京フィルハーモニー交響楽団</p> <p>○場所 若狭熊川宿</p> <p>○時期 令和8年8月～11月</p> <p>○活動内容</p> <p>①美術分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの施設を創作拠点とし、招聘アーティストが若狭町熊川の歴史・文化をリサーチし、地域の魅力や自身の創作活動に関する情報を、広く国内外へ発信</li> <li>・リサーチ活動、公開制作、ワークショップ、アーティストトークなど身近な場所で地域住民との交流機会を創出</li> <li>・大陸からの文化が流入する地であった特徴を生かし、国内を含む東アジアのアーティストの作品を展示・発信</li> </ul> <p>②音楽分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を代表するオーケストラである東京フィルの楽団員や越のルビーアーティストが若狭熊川宿で音を創り、地元住民に音を届けるコンサートやアウトリーチを実施</li> </ul> <p>③ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストのリサーチ・制作活動をサポートするボランティアグループを立ち上げる</li> <li>・ボランティア主体のイベントも企画・運営し、地域の文化活動の担い手となるようにする</li> </ul> <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども美術制作公開（若狭町内の園児たちの制作活動公開）</li> <li>・町民プロジェクト（熊川地区・町民等との連携企画。地域イベントとのコラボや熊川宿内のカフェ等と連携企画）</li> </ul> <p>○参加者 国内外からのアーティスト</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	15,411	—	7,533		7,878
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	芸術祭への来場者数	7,500	7,727	令和7年度
	活動指標	芸術祭への関係団体数	20	31	令和7年度
事業評価	<p>・国内外のアーティスト7名が制作・完成までを観客とコミュニケーションを図りながら公開し、住民とアーティストが相互に理解を深める機会を創出することができた。</p> <p>・展覧会の回数を2回に増やし、成果指標の展覧会への来場者数3,000人を目標以上に達成（展覧会来場者数6,818人）。</p> <p>・成果指標・活動指標を以下のように見直した。</p> <p>成果指標「展覧会への来場者数3,000人」⇒「芸術祭への来場者数7,500人」</p> <p>活動指標「アーティスト・イン・レジデンスの実施回数1回」</p> <p>⇒「芸術祭への関係団体数20団体」</p>				
区分	拡充				

	交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
1 2	文化芸術・スポーツ力の強化		事業開始年度	令和7年度	
	「福井県文化振興プラン」推進事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	令和6年4月に策定した「福井県文化振興プラン」の実現に向け、官民が一体となって取組みを進めるため、経済団体、文化団体、文化施設、活動者、市町などで構成する「福井県文化芸術推進会議」を設置し、プランに定める施策の進捗や特に民間と協働で進めるべきプロジェクト等について協議を行う。				
事業内容	(1)福井県文化芸術推進会議の開催 経済団体、文化団体、文化施設、活動者、市町等による会議を開催 【委員】14名 【開催回数】年2回 (2)学生WGの運営 県内大学（5校）から学生が参加するワーキンググループを設置し、学生による政策（事業）提案を行う 【メンバー】福井大学、福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、仁愛女子短期大学の5校から各2名				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	591	—			591
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	アートプロジェクト助成事業の実践者数	2,000		令和7年度
	活動指標	民間との協働に向けた会議開催回数	3	2	令和7年度
事業評価	<成果指標> 令和7年度の実績は令和8年3月末に確定予定。 <活動指標> 目標の3回を下回る2回となったが、県の文化振興に向けて必要な協働のあり方などについて、活発な議論が行われた。 <事業実績> ・福井県文化芸術推進会議の開催（9月、3月）				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和2年度
まちかど幸福ピアノ設置事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	学校等で使われなくなったピアノをえちぜん鉄道福井駅に、誰でも、自由に、いつでも弾くことができる「まちかど幸福ピアノ」として設置し、演奏者も聴く人も駅に降り立った瞬間から文化の香りを実感できるような空間を創出する。				
事業内容	・ピアノの維持管理（調律（春・秋）、外装クリーニング、修理）				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	204	—			204
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ピアノの利用日数	365	365	令和7年度
	活動指標	調律回数	2	2	令和7年度
事業評価	福井ゆかりのプロアーティストによるピアノを使ったミニコンサートを開催することで、だれでも気軽に一流の演奏を聞くことができる機会を創出した。 また、ピアノの定期的なメンテナンスを行うことで1年を通して利用可能な状態を維持することができた。 <事業実績> ・福井ゆかりのアーティスト「越のルビーアーティスト」によるミニコンサートを開催：2回				
区分	縮減				

	交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
1 2	文化芸術・スポーツ力の強化		事業開始年度	令和8年度	
	⑧ 市町による文化の担い手育成応援事業		事業終了年度	令和10年度	
事業目的	文化芸術による地域力の向上や未来へつながる新たな地域の文化創造を図るため、県内市町が自ら行う、地域の特性にあわせた文化・アートの担い手育成の取組みを支援する。				
事業内容	事業目的に沿った新規事業を行う県内市町に対し、補助金を交付 【補助対象事業者】市町 【補助対象事業】市町が主体となり、地域の実情を踏まえつつ、地域で活動する専門人材やアーティスト、文化団体、民間企業等の多様な主体と連携しながら行う文化・アートの担い手育成のための新規事業 【補助率】 1 / 2 【上限額】 2 0 0 万 【補助件数】 2 件程度				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,047	—	2,023		2,024
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	文化芸術活動の参加者数	64,000		令和 8 年度
	活動指標	補助件数	2		令和 8 年度
事業評価	—				
区分	—				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	平成11年度
一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業				事業終了年度	令和 10年度
事業目的	日本で唯一戦国城下町の遺構が手つかずのまま残る「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡」を積極的に活用し、国内外への発信の強化、案内サービスの一層の充実を図ることで、遺跡への誘客を促進する。				
事業内容	(1) 山城の観光活用 (2) 山城を含めた遺跡内アクセス環境の向上 (3) 案内・サービスの充実 (4) 戦国城下町生活再現の実施 (5) 遺跡の魅力発信				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	11,000	—			11,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者	1,100,000	※	令和 7 年度
	活動指標	生活再現実施日数	50	68	令和 7 年度
事業評価	<p>※令和 7 年度の一乗谷朝倉氏遺跡見学者数は、福井県観光入込数調によるため、令和 8 年 6 月頃に確定する予定。</p> <p>&lt;事業実績&gt; 福井市および地元関係団体と連携しつつ、例年の継続事業に加えて、一乗谷と歴史的な縁のある「加冠の儀」を題材にしたステージイベントや、「佐渡島の金山」の世界遺産登録に至る取組についての勉強会を開催するなど、遺跡の魅力向上にかかる取組を多数行った。</p>				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和 7年度
④ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館魅力発信強化事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	博物館の更なる誘客拡大のため、一乗谷朝倉氏遺跡博物館でのイベントの開催、県内外への出向宣伝等を行うことで、認知度向上を図る。				
事業内容	(1) キャラバン隊による出向宣伝の実施 (2) あさみゆーナイト&縁日の開催 (3) あさみゆー広報用動画の作成 (4) 若年層への働きかけ (5) 地域おこし協力隊の活用				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,887	—			12,887
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	一乗谷朝倉氏博物館見学者数	200,000	155,567	令和 7年度
	活動指標	出向宣伝実施回数	10	9	令和 7年度
事業評価	令和 7年度の実績は、令和 8年 4月頃に確定する予定。(一乗谷朝倉氏遺跡博物館見学者数および出向宣伝実施回数は、令和 8年 2月末時点実績) <事業実績> ・キャラバン隊については、3大都市圏および北陸新幹線沿線を中心とした地域（首都圏 4箇所、中部圏 3箇所、関西圏 1箇所）で出向宣伝を行い、令和 6年度とは異なる地域での広報活動により、認知度拡大につながった。 ・一方、夏の暑さや関西万博、国道158号線通行止の影響が大きく、来館者数増にはつながらなかった。				
区分	拡充				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和 7年度
中世都市遺跡研究の拠点化推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	世界に誇る特別史跡・特別名勝である一乗谷朝倉氏遺跡を永続的に保存・活用し続ける。博物館と遺跡を中世都市遺跡の研究者が集う研究拠点とし、大学や研究者と連携しながら調査・研究をする。全国の遺跡の基準資料となる一乗谷朝倉氏遺跡の遺構・遺物を研究し、国内外の遺跡の調査・研究の進展に寄与する。				
事業内容	(1) 一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究（奈良文化財研究所） (2) 中世都市における金属製品生産及び流通の実態解明に向けた連携研究（帝京大学文化財研究所） (3) 石製資料の原産地分析法の開発に向けた連携研究（国立歴史民俗博物館） (4) 一乗谷朝倉氏遺跡の歴史的価値を再考する取り組み（記録集の作成）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	31,510	—			31,510
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者	1,100,000	※	令和 7年度
	活動指標	調査項目数	8	8	令和 7年度
事業評価	※令和 7年度の一乗谷朝倉氏遺跡見学者数は、福井県観光入込数調によるため、令和 8年 6月頃に確定する予定。 連携先の機関と共同で調査研究・成果の公開を進めることで、国内外への福井県および当遺跡のアピールにつながった。 <事業実績> 共同調査：8回（奈文研 3回、帝文研 3回、国歴博 2回） 学会発表：2件（日本文化財科学学会、石造文化財の保存に関する国際学会） 報道発表：2回（タイ産鉛の発見、遺跡保存に関する調査成果） 報告書刊行：1件（遺跡の保存技術確率に向けた連携研究報告書（奈文研））				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和5年度
越美北線魅力向上事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	北陸新幹線福井・敦賀開業効果で県外からの来訪者の増加が見込まれるなか、越美北線の観光利用の促進および沿線観光の振興を図るため、越美北線の魅力を高める。				
事業内容	(1) 一乗谷駅舎のラッピングの保守点検 (2) 越美北線ガイドアプリの保守・運用				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,497	—			2,497
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	アプリダウンロード数	1,000	2,227	令和7年度
	活動指標	御乗印帳販売数	500	39	令和7年度
事業評価	令和7年度の実績は、令和8年4月頃に確定する予定。(アプリダウンロード数および御乗印帳販売数は令和8年2月末時点実績)				
区分	縮減	<p>&lt;事業実績&gt;</p> <p>(1) 一乗谷駅および戦国列車の保守 ・令和4年度に装飾を施した一乗谷駅舎の保守点検と「戦国列車」の車両点検に伴う再ラッピングを行った。</p> <p>(2) 越美北線ガイドアプリの保守・運用 ・令和4年度に運用開始したアプリの保守・運用を引き続き行った。チラシやSNS等を活用し、積極的に情報発信を行い、ダウンロード数は目標を上回った ・御乗印帳については、販売店舗の拡大や認知度向上が課題であり、販売数が伸び悩んだ。</p>			

	交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
1 2	文化芸術・スポーツ力の強化		事業開始年度	令和 5年度	
	一乗谷朝倉氏遺跡フィールドミュージアムデザイン事業		事業終了年度	令和8年度	
事業目的	県内デザイナーの監修を得て、新たな視点による誘客拡大を図る。				
事業内容	(1) 「戦国景観」の創出と快適な回遊環境の整備 ・山林部、山裾部の景観改善 ・パークアンドライドの促進 (2) 誘客事業へのデザイン視点の導入 ・デザイナーによる監修 ・案内サインの統一的整備 ・遺跡での仕掛けづくり（イベント「一乗谷文化祭」の開催）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	34,270	—			34,270
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡見学者数	1,100,000	※	令和7年度
	活動指標	イベント実施回数	2	2	令和7年度
事業評価	※令和7年度の一乗谷朝倉氏遺跡見学者数は、福井県観光入込数調によるため、令和8年6月頃に確定する予定。 <事業実績> (1) 「戦国景観」の創出と快適な回遊環境の整備 ・山林部、山裾部の景観改善に向け、対象地の性質解明に向けた試掘調査（約16㎡）を実施した。 (2) 誘客事業へのデザイン視点の導入 ・案内サインの統一的整備 朝倉館跡、湯殿跡庭園、諏訪館跡庭園の3基を施工。 ・一乗谷文化祭（10/11、10/12） 総来場者数 約3,900人				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和4年度
ふくいのミュージアム連携事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県内の博物館・美術館の連携を支援し、県民の博物館・美術館に対する興味関心の向上を図るとともに、博物館・美術館を核とした県内周遊を促進。				
事業内容	(1) 情報発信支援 ・福井県博物館協議会ポータルサイト「FUKUI MUSEUMS (ホームページ)」の運営支援 ・SNSや紙媒体等による広報支援。 (2) 嶺南地域住民に対する文化交流機会の拡大支援 ・嶺南地域から嶺北の各文化施設へ向かう無料送迎バス「フレンドリーアート号」の運行 (年間12便)				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,778	—			3,778
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	送迎バス利用者数	240	251	令和7年度
	活動指標	送迎バス運行便数	12	12	令和7年度
事業評価	バスの運行便数は例年通り維持することができた。国体や万博の影響もあり運行時期が例年と異なったが、ほぼ同等の利用人数を維持することができた。利用者からも運行がありがたいとの意見が聞かれた。				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和6年度
博物館・美術館の専門職員による地域連携事業				事業終了年度	令和16年度
事業目的	県立博物館施設の学芸員や県内外の関係大学、外部専門家からなる共同調査・研究の体制を構築したうえで、永平寺との共同調査を行い、保存の策を講じ、調査・研究の成果を共有し、広く県民や研究者に公開することを目指す。				
事業内容	<p>（1）永平寺関連事業委員会事業 永平寺史料調査会事業費にて実施した調査の成果を博物館・美術館における企画展やシンポジウム等で県民や社会に還元するための具体的な内容について検討する委員会・史料調査会を組織し会議を開催する。また、インターネット等で公開することを目指す。</p> <p>（2）永平寺史料調査会事業 永平寺所蔵の古文書、典籍、仏像等の「歴史資料」を永平寺史料調査会で悉皆的に調査する。調査目標点数を本年度は1000点とする。</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,221	—	2,617		4,604
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	年間「歴史資料」調査数	1,000	2,000	令和7年度
	活動指標	委員会・調査会・研究報告会開催回数	2	3	令和7年度
事業評価	5月末に初めて永平寺関連事業委員会・永平寺史料調査会の合同会議を開催し、本事業の実質的スタートを切った。合同会議は3月に2回目を行い、また5月時に表明した「研究報告会」を開催する予定(3月12、13日)。「歴史資料」の調査は、前年度から引き続き五百羅漢像調査を継続し、また古文書群の概要調査(点数把握)を終了し、9月末から県立歴史博物館に調査資料を移管し、年度末までに、仏像・古文書合計2000点の調査を終了する予定である(3月末時点実績)。				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	昭和42年度
一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	全国的にもまれな規模と内容をもつ戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡について、「朝倉氏遺跡研究協議会」の指導のもと、その価値を高めるために発掘調査および環境整備を実施し、福井県民をはじめ全国から訪れる見学者のために、生きた歴史教育・生涯学習の場として活用される史跡公園の整備を目指す。				
事業内容	「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘・整備基本計画」「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画」に基づき、発掘調査および環境整備等を行う。 (1) 発掘調査事業 (2) 復原整備事業 (3) 重要文化財保存修理事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	145,040	—	66,769	38,000	40,271
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	報告書刊行数	1	1	令和 7 年度
	活動指標	発掘・復原面積	1,150	2,750	令和 7 年度
事業評価	令和 7 年度の実績は、令和 8 年 4 月頃に確定する予定。 発掘調査報告書は計画どおり刊行予定。 発掘調査事業については、予算内で当初計画を超える面積の調査を行った。 復原整備事業については、今年度予定を計画どおり完了予定。 重要文化財保存修理事業については、今年度予定を計画どおり完了予定。 重要文化財追加指定事業については、今年度予定を計画どおり完了予定。				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	昭和59年度
歴史博物館企画展開催・準備事業				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	資料収集、調査研究の成果をもとに展示、公開することで、福井県の歴史、民俗、文化を県民および県内外からの来館者へわかりやすく伝え、歴史文化への関心を高める。				
事業内容	企画展開催事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	17,683	—		6,090	11,593
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	企画展観覧者数	10,000	5,579	令和 7年度
	活動指標	企画展開催件数	2	2	令和 7年度
事業評価	夏季特別展は当館として初めての陶磁史を、また秋季特別展は今まであまり取り上げられていない奈良・平安時代を扱ったものであり、新たな層の開拓を図ったが、同時期に大阪・関西万博およびその関連の展示・イベントが多数開催されていたこともあり、観覧者増にはつながらなかった。展示内容については県外大学のゼミ等の見学が見られるなど評価されているため、県民に対しても興味を引くような広報や関連企画の工夫と充実を図りたい。				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる (創造力)				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	昭和57年度
若狭歴史博物館企画展開催・準備事業				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	調査研究の成果をもとに若狭地方の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。				
事業内容	企画展開催事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	13,647	—		1,692	11,955
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	企画展観覧者数	2,800	2,744	令和 7 年度
	活動指標	企画展開催件数	1	1	令和 7 年度
事業評価	<p>期間中、「お城フェス」等のイベントを開催したため、例年よりも多くの来館者を集客することができた。京都や金沢等への広報に力を入れたため、集客につながった。</p> <p>&lt;事業実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでの投稿 (Facebook、Instagram、X) 期間中 各30回程度</li> <li>・JR駅貼りポスターの掲示 (京都、金沢、福井他) 全12駅</li> <li>・関連イベントの開催</li> </ul> <p>記念講演「榎村一木彫論と若狭の平安初期の彫刻」 参加者50名  記念講演「ほとけとなるーネパールの仏教舞踊チャルヤー・ヌリテヤ (行舞2) ー」 参加者25名</p>				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	昭和61年度
一乗谷朝倉氏遺跡博物館企画展開催・準備事業				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	一乗谷朝倉氏遺跡の調査研究成果をもとに朝倉氏に関する歴史資料などを公開展示することで、県内外からの来館者の一乗谷朝倉氏遺跡への関心を高める。				
事業内容	企画展開催事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	14,063	—		4,500	9,563
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	企画展観覧者数	56,000	20,874	令和 7年度
	活動指標	企画展開催件数	2	2	令和 7年度
事業評価	<p>夏季特別展は、一乗谷の中でも「阿波賀」という特定の地域の歴史にスポットを当てるといってこれまでにない切り口で展示を行った。観覧者数は目標に及ばなかったが、展示内容は概ね好評で、関連行事として開催したシンポジウムは満員となり全国各地からの参加者があった。秋季特別展は、朝倉氏や一乗谷に関わりのある刀剣や一乗谷朝倉氏遺跡出土の刀剣関連遺物を一堂に展示し、戦国時代の刀剣文化を紹介する内容のものになった。こちらも観覧者数は目標に及ばなかったが、一般の方に向けて刀剣鑑賞会など刀剣に触れるイベントなどを開催し好評であった。</p>				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	昭和52年度
県立美術館企画展開催・準備事業				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	国内外の優れた美術品や県内の美術作品を公開・紹介することで、県民が一流の名品を鑑賞する機会を拡大する。				
事業内容	企画展開催事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	83,786	—		44,786	39,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	企画展観覧者数	37,253	52,585	令和 7 年度
	活動指標	企画展開催件数	3	3	令和 7 年度
事業評価	「ミュシャ展」はほぼ目標どおりの来館者数を達成した。 「大どろぼうの家」は目標の2倍超の来館者数となった。 「佐川美術館展」は現時点で目標どおりのペースで推移している。(R8.2.24現在) ※令和7年度の実績は、令和8年3月頃に確定する予定。				
区分	継続				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和5年度
福井の方言利用促進事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	県民が福井の方言の面白さを再認識し、方言のさらなる利用を促進するため、県民参加型のコンテスト等を実施する。また、投稿された動画を、県内外を問わず広く発信し、福井県のPRを行うことで、北陸新幹線開業後のさらなる誘客につなげる。				
事業内容	(1) 第2回方言動画コンテストの実施 「福井県”おもてなし担当”知事」の津田寛治氏を審査委員長とし、「第2回方言動画コンテスト」を開催 優秀作品は、「しあわせを呼ぶ福井の方言」HP等で公開 (2) 方言カードの増刷				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,938	—			3,938
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000		令和11年（暦年）
	活動指標	方言コンテスト参加者数（人）	40	67	令和7年度
事業評価	方言動画コンテスト等を実施することで、県民の方言のさらなる利用の促進、および県外への方言の魅力発信につなげることができた。また、県内土産物店で、方言関係商品を集めた特設コーナーを設置し、帰省客および県外観光客への方言の発信を行うことができた。				
区分	廃止	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	文化課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和7年度
地域の伝統行事活動支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	担い手の確保のためには、地域の伝統行事が注目され活性化されること、さらには観光誘客効果等により資金的にも潤うことが重要であると考えられるため、各地域の実情に応じた活性化策、観光活用等の取組への支援を行う。				
事業内容	<p>（1）地域で行われるお祭り等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例年以上の新たな活性化策、観光活用等の方策 例：祭礼への参加体験、稽古場公開およびツアー造成 関連グッズや料理メニューの開発、製作 動画リアルタイム配信システムの開発 全国の他のお祭りとの交流促進等</li> <li>福井県無形民俗文化財保護協議会（55団体加盟）が設立されている国・県指定無形民俗文化財を対象 ただし市町指定無形文化財で、文化財保存活用地域計画で位置づけがあるものも、1件/1自治体まで対象</li> <li>専門家による事業内容、事業実施体制等へのコーチング（改善指導）が義務</li> <li>補助対象経費の1/3</li> </ul>				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,400	—	2,200		2,200
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光活用お祭り数	1	1	令和7年度
	活動指標	支援団体数	3	2	令和7年度
事業評価	<p>伝統行事の活性化についての専門性を有する事業者による伴走支援を行うことで、担い手不足の解消や、体験コンテンツの造成等による活性化につなげることができた。</p> <p>&lt;支援した伝統行事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝山左義長祭 「おはやし講習会」参加者の本祭への参加を支援することで、担い手の増加につなげた。</li> <li>小浜放生祭 プレミアム感のある特別観覧プラン等を企画し、次年度以降も持続的に収益を得られる体制の構築を図った。</li> </ul> <p>&lt;活動指標&gt;</p> <p>県内市町への募集を行ったが、例年以上の新たな取組みを行う意向のある伝統行事が想定よりも少なかったため、目標を下回った。一方で、専門性を有する事業者による伴走支援のもと、担い手不足の解消と体験コンテンツの造成という異なる視点での支援ができ、県内の他の伝統行事の活性化のモデルとすることができた。</p>				
区分	廃止				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和7年度
「越前鳥の子紙」魅力発信事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	令和7年12月に「越前鳥の子紙」がユネスコの無形文化遺産に追加登録されたため、そのことを契機として越前和紙の魅力発信を行う。				
事業内容	（1）福井県内での登録記念イベント ・鳥の子紙の展示や実演、製法のパネル展示等を行い、県民に鳥の子紙および越前和紙全体の素晴らしさを理解いただく				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,000	—	2,000		2,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観光客入込数（千人）	21,000		令和11年（暦年）
	活動指標	記念展開催回数	1	1	令和7年度
事業評価	令和8年3月7日（土）、8日（日）に、福井市内の「トレタスグリーンホール」で登録記念イベント「みて、ふれて、越前和紙フェア」を開催。当日は、越前生漉鳥の子紙保存会による、和紙の「手すき実演」や、来場者向けの紙すき体験等を実施した。 2日間で、4,346人（7日（土）：2,305人、8日（日）：2,041人）の来場があり、県内での鳥の子紙の知名度向上、および越前和紙全体の魅力の発信につなげることができた。				
区分	完了	成果指標 目標は令和11年（暦年）、令和7年の実績は令和8年6月頃に確定予定			

		交流文化部	文化課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和3年度
みんなのまちなかステージ設置支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	まちなかで誰もが文化芸術活動を発表できるステージの設置を支援し、誰もが気軽に文化芸術に触れる機会を増やし、まちなかの賑わいを創出する。				
事業内容	(1)まちなかステージの設置・運営支援 音楽やダンス、演劇、アートなど、様々なジャンルの文化芸術活動発表のため、学生、プロ・アマ問わず、誰もが利用できる簡易な「まちなかステージ」の設置・運営を支援（初年度の経費を支援し、2年目以降は自立化）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,803	—			5,803
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ステージ利用者数	140	175	令和7年度
	活動指標	看板、ステージの制作	2	2	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美浜町、高浜町において、新たにまちなかステージを設置。</li> <li>・美浜、高浜ともに多くの文化団体が出演するなど、1町あたりのステージ利用者は多かった。</li> <li>・事業開始以降合計10市町にステージ設置が実現し、各市町で毎年ステージが利用され、多くの文化団体や個人が出演するイベントが開催されるなど、県民が文化芸術に触れる機会とまちなかの賑わい創出という事業目的を達成したと考える。</li> </ul> <p>&lt;事業実績&gt; まちなかステージの設置：2市町（累計10市町に設置） ステージ出演者数：2,471人（R8.1末時点）</p>				
区分	廃止				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
12 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和3年度
音楽を活用したまちづくり推進事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	株式会社ヤマハミュージックジャパンが実施する音楽の街づくり「おとまち」のノウハウの提供や運営協力を得ながら、まちなかでいつでも音楽が聞こえるまちづくりを推進する。				
事業内容	<p>(1) 音楽を始めたいアマチュアプレイヤーの発掘と仲間づくりを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や障がいの有無に関わらず楽しめるドラムサークル活動を通じて、幅広い年代に音楽の楽しさを実感してもらう</li> <li>・全県下の婦人会の推進員が、音楽に興味のあるアマチュアプレイヤーを掘り起こす</li> </ul> <p>(2) 市町ホールを拠点とする音楽サークルの運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度から住民交流や市町のホール利用促進のため、7市町で設立した音楽サークルの運営</li> <li>①鯖江市：吹奏楽、②越前市：ラテン、③美浜町：軽音楽、④若狭町：ウクレレ、⑤永平寺町：ギター、⑥小浜市：フルート、⑦坂井市：ギター</li> <li>・7市町の音楽サークル合同での成果発表会（ジョイントコンサート）を企画・運営</li> </ul>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	11,344	—			11,344
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	サークル参加者数	70	160	令和7年度
	活動指標	団体設立数	7	7	令和7年度
事業評価	<p>(1) 音楽を始めたいアマチュアプレイヤーの発掘と仲間づくりを支援 別事業内で継続予定</p> <p>(2) 市町ホールを拠点とする音楽サークルの運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7市町で音楽サークルを設立し、各サークルに多くの音楽プレイヤーが参加しており、成果指標および活動指標を目標どおり達成。</li> <li>・令和8年度に全サークルが自立し、地元イベントへの出演などを行っていく予定であり、音楽が聞こえるまちづくりを担うプレイヤーを各市町に誕生させることができた。</li> </ul> <p>&lt;事業実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>婦人会によるドラムサークルを開催：2件</li> <li>婦人会のファシリテーター研修：4回</li> <li>サークルの自立に向けた運営を支援：2市町（小浜市、坂井市）</li> </ul>				
区分	整理統合				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
12 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和5年度
サブカルを活用した地域活性化事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	サブカルを楽しむ機会が少ない嶺南地域において、県内の若者と協働で、福井の新たな魅力を発信することができるイベントを開催することにより、若者文化による街のにぎわい創出や新幹線開業後の観光誘客のための新たなコンテンツを目指す。				
事業内容	○嶺南地域4高校の学生有志（トンティーン）のアイデアによるサブカルイベントの開催 内 容：コスプレ体験会やファッションショー、ゲームトーナメント、2次元キャラを使ったVtuber体験、アイドルミニコンサート、You (V) tuberによるライブパフォーマンス 等 会 場：敦賀きらめきみなど館、金ヶ崎緑地エリア その他：ファッションショーやコスプレ体験会、ゲーム大会など、来場者も一緒に楽しめるような企画とする				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,192	—			1,192
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	有料参加者数	200	55	令和7年度
	活動指標	広報物設置・配布数	50	90	令和7年度
事業評価	毎年夏休み期間の8月の3連休開催に固定することでイベント時期が定着し、県外のOBOGの参加が増え、昨年以上に賑わいのあるイベントとなった。 <成果指標> 有料イベントはゲーム大会であったため、参加者に偏りが出た。また、同時間に別ステージでクイズ大会やファッションショー等が行われ、参加者が分散した。 <事業実績> R7.8.11「FUKUIサブカルフェス2025」開催（会場：敦賀市きらめきみなど館） ・参加者数：約2,000人 ・ファッションショーやゲーム大会、ステージイベント等を実施				
区分	廃止				

		交流文化部	文化課	事業年度	令和7年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
1 2 文化芸術・スポーツ力の強化				事業開始年度	令和7年度
全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	全国のアマチュアオーケストラに所属する音楽愛好家が一堂に集い、オーケストラを結成して演奏会を行う本大会の福井県開催を支援することにより、本県のアマチュア音楽家の活躍の場を創出するとともに、県民が質の高い芸術に触れる機会の創出につなげる。				
事業内容	全国のアマチュアオーケストラに所属する音楽愛好家が一堂に集い、オーケストラを結成して演奏会を行う大会の開催 開催日：令和7年9月12日～9月14日（1～2日目が練習日、3日目が演奏会） 会場：福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい 参加者：（公社）日本アマチュアオーケストラ連盟加盟の131団体 一般参加者は3日目の有料コンサートに参加 主催：（公社）日本アマチュアオーケストラ連盟福井大会実行委員会 共催：福井県、福井市				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,000	—			2,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	観覧者数	1400	750	令和7年度
	活動指標	協賛数	5	7	令和7年度
事業評価	福井県初開催となった当大会は、県外だけでなく海外からの参加もあり、県民の皆様へ一流の演奏を聞く機会を創出することができた。 <成果指標> 9月の3連休の中日に開催ということもあり、県内各地で色々なイベントが開催され、観覧者が増えなかった。 <事業実績> 参加者：（公社）日本アマチュアオーケストラ連盟加盟の131団体 日本全国に加え、ドイツや中国などから247名が出演				
区分	完了				